

菊連協 令和7年2月定例理事会 議案

I. 行政からの連絡事項 《伊勢所長から》

II. 議 題

1 総務部より

(1) 嶋崎会長からの報告について

- ・白石区町内連合会連絡協議会の内容について
1月定例会は休会。
2月定例会は2月13日（木）開催される予定。

(2) 令和7年度の菊連協運営体制について

- ・別紙資料を参照願います。

(3) 令和7年度 菊連協定例理事会の開催日について

菊連協定例理事会については、各月の第2日曜日を開催しているが、令和7年度においては3連休の中日が開催予定となるものが3回ある。このため役員の負担軽減を図るため開催日を変更したい。

【開催予定日が3連休の中日となるもの】

- ・ 8月10日（日） 8月9日（土）10日（日）11日（月・祝～山の日）
→11日（月・祝～山の日）に変更
- ・ 9月14日（日） 9月13日（土）14日（日）15日（月・祝～敬老の日）
→15日（月・祝～敬老の日）に変更
- ・ 10月12日（日）10月11日（土）12日（日）13日（月・祝～スポーツの日）
→13日（月・祝～スポーツの日）に変更

(4) 住民組織助成金決算の見込みについて

・令和6年度住民組織助成金収入額	1,528,560円
・支出額(令7.1.31現在)	1,255,772円
・今後(1月~3月)の予定支出額	170,020円
・執行残額見込み額	102,768円
・執行残額流用(案)	空気清浄機等

2. 防災部より

3. 女性部より

Ⅲ、関連団体より

1. 菊水地区会館運営委員会から

2. 菊水地区福祉のまち推進センターから

3. 菊水地区まちづくりネットワーク会議から

4. 菊水地区民生委員・児童委員協議会から

5. 菊水地区青少年育成委員会から

次回、令和7年3月定例理事会を3月9日(日)10時~ 如何でしょうか。

Ⅳ、今後のスケジュール

月日	曜日	開始時刻	会議名称	開催場所等
2月10日	月	11:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
3月4日	火	10:00	総務事務局会議	菊水地区会館
3月9日	日	10:00	菊連協3月定例理事会	菊水地区会館
3月10日	月	11:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
3月11日	火	13:30 15:00	菊連協 防災部会 福まち 役員会	菊水地区会館

以上

白石区菊水町内会連絡協議会

《 2 月 定 例 理 事 会 》

日 時 令和7年2月9日（日）10:00～

会 場 菊水地区会館 会議室

○ 行政からの連絡事項

1 共同募金の実績等について

【資料1】

資料1のとおり、菊水地区合計で「689,009 円」となりました。各町内会の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、区共同募金から交付された地区活動費「88,000 円」については、募金額に基づき各連町ごとに按分して配分します。

2 令和7年国勢調査について

【資料2】

令和7年国勢調査の概要が出ました。

前回（R2）調査からの主な見直しポイントは

- ・ オートロックマンションや単身世帯など何度訪問しても説明が困難と見込まれる場合、居住確認を行えた時点でポストイングを可能とする
- ・ QRコードによるログインを可能にし、インターネット回答率の向上を図る

の2点です。

4月中旬以降に、区から各地区会長に対して調査員の推薦の依頼を予定しています。調査員の任命期間は、8月下旬から10月下旬までの2か月で、報酬は、1 調査地域担当の場合はおおよそ 38,000 円、2 地区担当の場合はおおよそ 70,000 円です。

3 その他

(1) 民生委員の一斉改選について

【資料3】

改めてスケジュールが示され、町内会に関係ある部分が網掛けされています。推薦準備会と委嘱状伝達式の部分になります

(2) 白石区防災会議主催の講演について

【資料4】

申込方法が記載されていますが、急遽、当日参加でもよいとのこと。

(3) 町内会への防災資機材の購入補助制度について

これまでの町内会への防災資機材の現物支給制度を廃止、購入費補助制度が新設されます。対象品目を増やし、補助対象経費の2分の1（上限10万円）を補助します。上限10万円で、申請は年度内1回限りで、2年目以降は申請初回の団体が優先となります。運用開始はR7.7以降です（対象品目は裏面）。

【対象品目】

消火活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・組立式簡易水槽 ・消火用バケツ ・消火器 ※現行のモンキーレンチは対象外
救出活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎり ・斧 ・ハンマー ・金てこ ・シャベル ・かませ木 ・ロープ ・ジャッキ ・担架 ・リヤカー ・はしご・脚立 ・階段避難車 ・ヘルメット
救護活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・救急セット ・車椅子 ・AED
災害時生活用	<ul style="list-style-type: none"> ・発電機 ・ポータブル蓄電池 ・投光器 ・簡易トイレ ・簡易ベッド ・ストーブ等暖房器具 ・防水シート ・ブルーシート ・テント
資機材保管用	<ul style="list-style-type: none"> ・収納箱（カートやバッグ等も可） ・エレベーター用防災キャビネット ・防災資機材保管庫

※ 網掛けは新たな品目、消耗品（食料、水、燃料）は対象外

【対象品目】

消火活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・組立式簡易水槽 ・消火用バケツ ・消火器 ※現行のモンキーレンチは対象外
救出活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎり ・斧 ・ハンマー ・金てこ ・シャベル ・かませ木 ・ロープ ・ジャッキ ・担架 ・リヤカー ・はしご・脚立 ・階段避難車 ・ヘルメット
救護活動用	<ul style="list-style-type: none"> ・救急セット ・車椅子 ・AED
災害時生活用	<ul style="list-style-type: none"> ・発電機 ・ポータブル蓄電池 ・投光器 ・簡易トイレ ・簡易ベッド ・ストーブ等暖房器具 ・防水シート ・ブルーシート ・テント
資機材保管用	<ul style="list-style-type: none"> ・収納箱 (カートやバッグ等も可) ・エレベーター用防災キャビネット ・防災資機材保管庫

※ 網掛けは新たな品目、消耗品 (食料、水、燃料) は対象外

白石区菊水町内会連絡協議会

《 2 月 定 例 理 事 会 》

日 時 令和7年2月9日(日) 10:00～

会 場 菊水地区会館 会議室

○ 行政からの連絡事項

1 共同募金の実績等について

【資料1】

資料1のとおり、菊水地区合計で「689,009 円」となりました。各町内会の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、区共同募金から交付された地区活動費「88,000 円」については、募金額に基づき各連町ごとに按分して配分します。

2 令和7年国勢調査について

【資料2】

令和7年国勢調査の概要が出ました。

前回(R2)調査からの主な見直しポイントは

- ・ オートロックマンションや単身世帯など何度訪問しても説明が困難と見込まれる場合、居住確認を行えた時点でポストイングを可能とする
- ・ QRコードによるログインを可能にし、インターネット回答率の向上を図る

の2点です。

4月中旬以降に、区から各地区会長に対して調査員の推薦の依頼を予定しています。調査員の任命期間は、8月下旬から10月下旬までの2か月で、報酬は、1調査地域担当の場合はおおよそ38,000円、2地区担当の場合はおおよそ70,000円です。

3 その他

(1) 民生委員の一斉改選について

【資料3】

改めてスケジュールが示され、町内会に関係ある部分が網掛けされています。推薦準備会と委嘱状伝達式の部分になります

(2) 白石区防災会議主催の講演について

【資料4】

申込方法が記載されていますが、急遽、当日参加でもよいとのこと。

(3) 町内会への防災資機材の購入補助制度について

これまでの町内会への防災資機材の現物支給制度を廃止、購入費補助制度が新設されます。対象品目を増やし、補助対象経費の2分の1(上限10万円)を補助します。上限10万円で、申請は年度内1回限りで、2年目以降は申請初回の団体が優先となります。運用開始はR7.7以降です(対象品目は裏面)。

資料1

令和6年度 共同募金状況及び活動費交付一覧

※ 活動費合計額

88,000 円

(単位：円)

地 区	町内会より募金内容		合 計	活動費交付額	備 考
	町内募金分	法人分			
東	42,909	0	42,909	5,480	
西	215,800	35,000	250,800	32,030	
南	146,800	0	146,800	18,750	
北	124,250	0	124,250	15,870	
上 町	64,250	0	64,250	8,200	
未加入	10,000	0	10,000	1,280	(菊水8条3丁目 第1町内会)
	10,000	0	10,000	1,280	(クリーンリバー 菊水上町町内会)
	25,000	15,000	40,000	5,110	(菊水4条1丁目 町内会)
合 計	639,009	50,000	689,009	88,000	

※ 令和6年度共同募金会より、88,000円の活動費が交付されました。

令和7年国勢調査の概要

1 調査の期日

令和7年10月1日現在で実施します。

2 調査の対象

日本国内に常住するすべての人(外国人を含む)及び世帯を対象とします。

※ 札幌市では約197万人(約100万世帯)が対象となります。

3 調査事項

(1) 世帯に関する事項

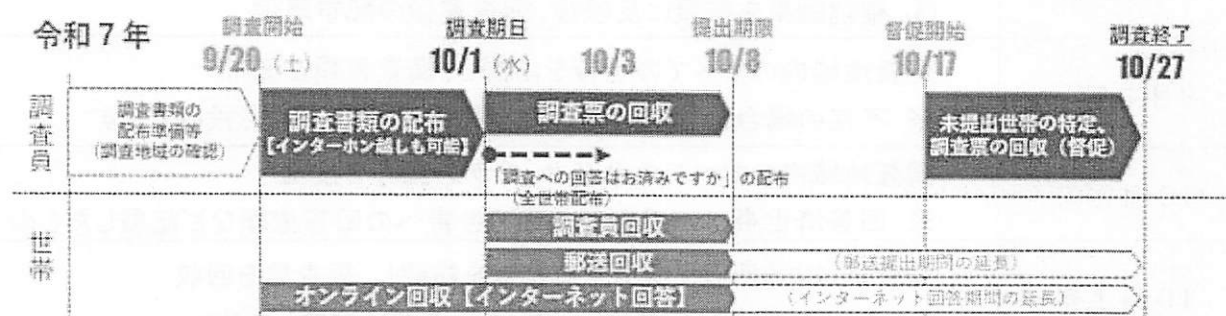
・世帯の種類 ・世帯員の数 ・住居の種類 ・住宅の建て方

(2) 世帯員に関する事項

・氏名 ・男女の別 ・出生の年月 ・世帯主との続柄 ・配偶の関係 ・国籍
 ・現在の住居における居住期間 ・5年前の住居の所在地 ・就業状態
 ・所属の事業所の名称及び事業の種類 ・仕事の種類(職業) ・従業上の地位
 ・従業地又は通学地

4 調査の方法

令和7年9月中に、調査員が調査区内の全世帯を訪問し、オンライン調査回答用IDと調査票を配布します。世帯は、専用のオンラインシステムによる回答、調査票を郵送又は調査員へ直接提出する、のいずれかの方法により回答します。



5 前回(R2)調査からの主な見直しポイント

(1) 調査困難地域等における配布方法の見直し

・地域性や住宅の建て方などを考慮し、オートロックマンションや単身世帯など何度訪問しても説明が困難と見込まれる場合、居住確認を行えた時点でポスティング可

(2) オンライン調査システムの機能改善

・QRコードによるログインを可能としたことで、インターネット回答率の向上が期待

6 任命期間

2か月(8月下旬から10月下旬)の予定

7 令和2年国勢調査時の指導員・調査員数

地区	指導員数 (統計協)	調査員数			
		統計協	町内会	その他	合計
白石	4名	12名	154名	93名	263名
東白石	4名	4名	126名	43名	177名
東札幌	4名	4名	68名	87名	163名
菊水	4名	7名	90名	45名	146名
北白石	4名	11名	135名	44名	194名
北東白石	2名	8名	74名	14名	98名
白石東	3名	12名	96名	40名	151名
菊の里	2名	11名	55名	20名	88名
連町未加入	0名	3名	58名	18名	79名
未組織	0名	2名	0名	13名	15名
合計	27名	74名	856名	417名	1,374名

8 調査の流れ(予定)

4月中旬	区から、各地区会長へ調査員の推薦を依頼します
5月中旬	区へ、調査区ごとに調査員をご推薦ください
8月下旬 ~9月上旬	① 区の担当者が開催する説明会へ出席 ② 担当する調査地域を巡回し、建物の新設・廃止等を確認 ③ 確認結果を書類に反映後、調査書類の配布準備
9月中旬	調査地域内のすべての世帯を訪問し、調査書類を配布 ※ 不在の場合は数度の再訪問を行い、なお不在なら投函します
10月初旬	調査地域内のすべての世帯へ、チラシ(※)を投函 ※ 回答済世帯への感謝と未回答世帯への回答依頼など記載したもの
10月上旬	調査員による回収を希望する世帯を訪問し、調査票を回収 ※ ネットや郵送を希望する世帯は、ここでは訪問しません
10月中旬 ~下旬	① 回答状況確認用の書類を受理し、未回答世帯を特定 ② 未回答世帯を訪問し、回答をあらためて依頼(督促) ③ 回収した調査票等を整理し、区が指定する場所へ提出

9 前回国勢調査時の調査員報酬額

- 調査地域(60世帯程度)を1つ担当した場合:おおむね 38,000 円程度
- 調査地域(60世帯程度)を2つ担当した場合:おおむね70,000 円程度

7 令和2年国勢調査時の指導員・調査員数

地区	指導員数 (統計協)	調査員数			
		統計協	町内会	その他	合計
白石	4名	12名	154名	93名	263名
東白石	4名	4名	126名	43名	177名
東札幌	4名	4名	68名	87名	163名
菊水	4名	7名	90名	45名	146名
北白石	4名	11名	135名	44名	194名
北東白石	2名	8名	74名	14名	98名
白石東	3名	12名	96名	40名	151名
菊の里	2名	11名	55名	20名	88名
連町未加入	0名	3名	58名	18名	79名
未組織	0名	2名	0名	13名	15名
合計	27名	74名	856名	417名	1,374名

8 調査の流れ(予定)

4月中旬	区から、各地区会長へ調査員の推薦を依頼します
5月中旬	区へ、調査区ごとに調査員をご推薦ください
8月下旬 ~9月上旬	① 区の担当者が開催する説明会へ出席 ② 担当する調査地域を巡回し、建物の新設・廃止等を確認 ③ 確認結果を書類に反映後、調査書類の配布準備
9月中旬	調査地域内のすべての世帯を訪問し、調査書類を配布 ※ 不在の場合は数度の再訪問を行い、なお不在なら投函します
10月初旬	調査地域内のすべての世帯へ、チラシ(※)を投函 ※ 回答済世帯への感謝と未回答世帯への回答依頼など記載したもの
10月上旬	調査員による回収を希望する世帯を訪問し、調査票を回収 ※ ネットや郵送を希望する世帯は、ここでは訪問しません
10月中旬 ~下旬	① 回答状況確認用の書類を受理し、未回答世帯を特定 ② 未回答世帯を訪問し、回答をあらためて依頼(督促) ③ 回収した調査票等を整理し、区が指定する場所へ提出

9 前回国勢調査時の調査員報酬額

- 調査地域(60世帯程度)を1つ担当した場合:おおむね 38,000 円程度
- 調査地域(60世帯程度)を2つ担当した場合:おおむね70,000 円程度

令和7年国勢調査の概要

1 調査の期日

令和7年10月1日現在で実施します。

2 調査の対象

日本国内に常住するすべての人(外国人を含む)及び世帯を対象とします。

※ 札幌市では約197万人(約100万世帯)が対象となります。

3 調査事項

(1) 世帯に関する事項

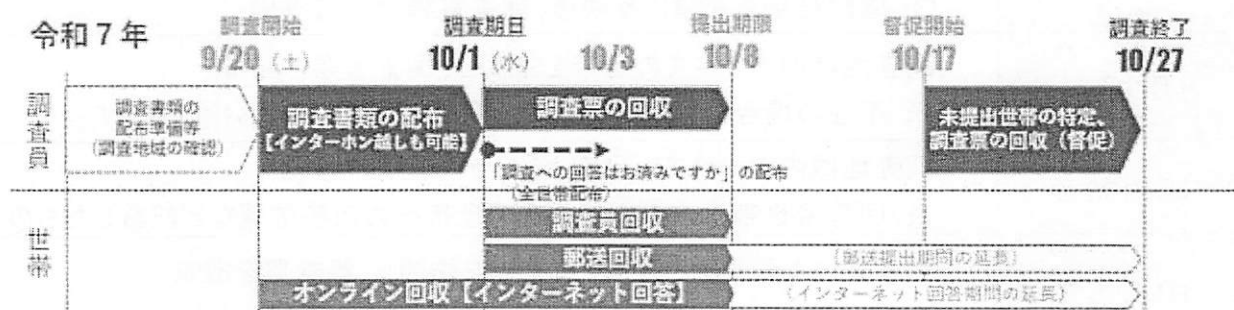
・世帯の種類 ・世帯員の数 ・住居の種類 ・住宅の建て方

(2) 世帯員に関する事項

・氏名 ・男女の別 ・出生の年月 ・世帯主との続柄 ・配偶の関係 ・国籍
 ・現在の住居における居住期間 ・5年前の住居の所在地 ・就業状態
 ・所属の事業所の名称及び事業の種類 ・仕事の種類(職業) ・従業上の地位
 ・従業地又は通学地

4 調査の方法

令和7年9月中に、調査員が調査区内の全世帯を訪問し、オンライン調査回答用IDと調査票を配布します。世帯は、専用のオンラインシステムによる回答、調査票を郵送又は調査員へ直接提出する、のいずれかの方法により回答します。



5 前回(R2)調査からの主な見直しポイント

(1) 調査困難地域等における配布方法の見直し

・地域性や住宅の建て方などを考慮し、オートロックマンションや単身世帯など何度訪問しても説明が困難と見込まれる場合、居住確認を行えた時点でポスティング可

(2) オンライン調査システムの機能改善

・QRコードによるログインを可能としたことで、インターネット回答率の向上が期待

6 任命期間

2か月(8月下旬から10月下旬)の予定

令和7年 民生委員・児童委員一斉改選事務スケジュール

予定時期	項 目	備 考
5月	・地区推薦準備会 委員名簿 提出依頼	・区 ⇒ 連町会長(依頼)
7月 中旬	・地区推薦準備会 委員名簿 提出	・区 ⇒ 保)地域福祉・生活支援課
8月	・地区推薦準備会の開催 (民生委員候補者の決定)	・委員長に選出されれば、議事を運営(連町会長)。 ・候補者の選出等
9月上旬	・民生委員候補者名簿 提出	・区 ⇒ 保)地域福祉・生活支援課
10月上旬 中旬	・市民生委員推薦会の開催(第1回) ・民生委員候補者の調査	
11月 月上旬 中旬	・市民生委員推薦会の開催(第2回) ・市社会福祉審議会民生委員審査専門分科会の開催 ・厚生労働省へ具申	・民生委員候補者の推薦 ・民生委員候補者の審査 ・保)地域福祉・生活支援課 ⇒ 厚生労働省
12月上旬	・委嘱状伝達式	・委嘱状伝達式への出席(連町会長) ・委嘱状の交付、民児協の開催、研修会等(保健福祉課)

●定年による退任予定者(R7.11.30 付)

地区	定数		定年による退任予定者	
	民生委員 ・児童委員	主任 児童委員	民生委員 ・児童委員 【75歳以上】	主任 児童委員 【63歳以上】
白石	56	3	15	
東白石	48	3	11	
東札幌	38	2	5	
菊水	41	3	12	1
北白石	53	3	16	
北東白石	34	2	11	
白石東	32	2	4	
菊の里	19	2	3	
小計	321	20	77	1
	合計 341名		合計 78名	

●民生委員の年齢要件(札幌市民生委員・児童委員の選任等に関する要綱)

	民生委員・児童委員	主任児童委員
新任 委員	<p>・満30歳以上 満72歳未満</p> <p>ただし、他に適任者が見つからない場合は、理由書を添付することにより、満72歳以上満75歳未満の者も推薦できる。</p>	<p>満30歳以上 満60歳未満</p>
再任 委員	<p>・満30歳以上 満75歳未満</p> <p>ただし、以下の条件を全て満たした場合のみ、理由書を添付することにより、満75歳以上満78歳未満の者も推薦できる。</p> <p>① 適任者が他にいないこと。 ② 本人の強い意欲があり、健康に不安がないこと。 ③ 地区準備会等からの積極的な推薦があること。</p>	<p>満30歳以上 満63歳未満</p>

※委嘱日(R7.12.1)における年齢

●定年による退任予定者(R7.11.30 付)

地区	定数		定年による退任予定者	
	民生委員 ・児童委員	主任 児童委員	民生委員 ・児童委員 【75歳以上】	主任 児童委員 【63歳以上】
白石	56	3	15	
東白石	48	3	11	
東札幌	38	2	5	
菊水	41	3	12	1
北白石	53	3	16	
北東白石	34	2	11	
白石東	32	2	4	
菊の里	19	2	3	
小計	321	20	77	1
	合計 341名		合計 78名	

●民生委員の年齢要件(札幌市民生委員・児童委員の選任等に関する要綱)

	民生委員・児童委員	主任児童委員
新任 委員	<p>・満30歳以上 満72歳未満</p> <p>ただし、他に適任者が見つからない場合は、理由書を添付することにより、満72歳以上満75歳未満の者も推薦できる。</p>	<p>満30歳以上 満60歳未満</p>
再任 委員	<p>・満30歳以上 満75歳未満</p> <p>ただし、以下の条件を全て満たした場合のみ、理由書を添付することにより、満75歳以上満78歳未満の者も推薦できる。</p> <p>① 適任者が他にいないこと。 ② 本人の強い意欲があり、健康に不安がないこと。 ③ 地区準備会等からの積極的な推薦があること。</p>	<p>満30歳以上 満63歳未満</p>

※委嘱日(R7.12.1)における年齢

令和7年 民生委員・児童委員一斉改選事務スケジュール

予定時期	項 目	備 考
5月	・地区推薦準備会 委員名簿 提出依頼	・区 ⇒連町会長(依頼)
7月 中旬	・地区推薦準備会 委員名簿 提出	・区 ⇒保)地域福祉・生活支援課
8月	・地区推薦準備会の開催 (民生委員候補者の決定)	・委員長に選出されれば、議事を運営(連町会長)。 ・候補者の選出等
9月上旬	・民生委員候補者名簿 提出	・区 ⇒保)地域福祉・生活支援課
10月上旬 中旬	・市民生委員推薦会の開催(第1回) ・民生委員候補者の調査	
11月 月上旬 中旬	・市民生委員推薦会の開催(第2回) ・市社会福祉審議会民生委員審査専門分科会の開催 ・厚生労働省へ具申	・民生委員候補者の推薦 ・民生委員候補者の審査 ・保)地域福祉・生活支援課 ⇒厚生労働省
12月上旬	・委嘱状伝達式	・委嘱状伝達式への出席(連町会長) ・委嘱状の交付、民児協の開催、研修会等(保健福祉課)

講演テーマ

小学校防災教育で取り組む地域の防災の 実践実例とその課題について

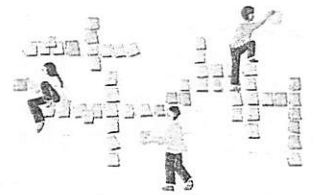
～地域学校協働活動として小学校の総合授業で取り組んだ地域防災の実例をご紹介します～

日時 令和7年 2月 25日 (火)
14:30～15:30

入場無料

場所 白石区民センターホール

白石区南郷通1丁目南8番1号
白石区複合庁舎5階



講師

水口 綾香 (みずぐち あやか)

防災ライフプランナー

NPO法人防災したっけ 代表理事
北海道防災人会議 副代表

1981年愛知県生まれ。

大学時代に地震、波、火山、気象、雪氷等自然現象を学びその脅威を実感したことから防災の道に進む。

(株)ウェザーニューズに入社し、企業や自治体の災害リスクコンサルティングに従事。

結婚を機に退社、育児中の東日本大震災で暮らし目線の防災の必要性を痛感し防災啓発を事業として実施する。

「誰もが笑って寿命を全うすること」を理念とし、

町内会、消防団、自治体職員、乳幼児家庭、障がい者、外国人、ジェンダー問題、LGBTQなど多様な背景の人々に対しそれぞれ当事者目線の防災啓発を進める。

また、地域の課題を解決し災害につよい街づくりを進めるため、様々なコミュニティでグラフィックファシリテーションを取り入れた対話やワークショップを実践している。

モットーは「楽しい気持ちを備える」。道内メディア出演多数。

申込
方法

二次元コードから
申し込み



電話で
申し込み

白石区役所市民部
総務企画課地域安全担当

011-861-2405

1 菊連協の令和7年運営体制等について

(1) 経緯

- 菊連協においては、効率的な執行体制への見直しにあたり、令和6年度の重点事業としてその組織、事業のあり方の検討を進めてきた。
- 令和5年度には札幌市の「町内会アドバイザー派遣制度」によるアドバイスを受け、菊連協の役割について行政などとの連絡調整機能や地域の課題解決のための協働した取り組み、防災など菊水地区全域に係わる体制づくりなどをその方向性とした。
- また、各種団体負担金の削減等の取り組みの中で行ってきた「白石区ふるさと会」等の対応については、令和7年度から加入、非加入の判断は連町によることとし、5連町のうち4連町(東、西、南、上町)が非加入、「白石区ふるさとまつり」についても5連町のうち3連町(東、西、南)が参画しないこととなった。
- このため、これまでの経緯をふまえて組織、事業、予算などについて整理し、令和7年度における新たな運営体制(案)として次のとおりとりまとめた。

(2) 菊連協の令和7年運営体制(案)～令7.2.3 菊連協5連町会議で協議

ア 組織・役員

(現行)	(改正)
会長 (区連協担当)	
副会長 4名	
総務部長	
総務副部長 2名	
会計部長	
防災部長	
防災副部長 4名	
女性部長(区女連担当)	
女性副部長	
女性部委員 3名	
渉外部長(空席)	→ 廃止
渉外副部長(空席)	→ 廃止
祭り準備委員会(休会)	→ 廃止
外部理事 5名	
監事 2名	

※ 菊連協の運営体制の見直しに伴う役員構成については、令和7年度中に更に検討を行い、必要に応じ令和8年度の役員改選に反映させる。

イ 各部業務

(現行)	(改正)
総務部	
総会 理事会 事務局会議	
新年互礼会	
会計部	
収入、支出、出納に関すること	
防災部	
災害に備えて、地域団体との連携した 支え合い体制づくり	
女性部	
女性活動に関すること	→ 区女連、連町女性部との連絡調整
保健衛生美化等に関すること	
渉外部	→ 廃止
地域団体の活動把握等	
まつり準備委員会(休会)	→ 廃止

ウ 事業計画

令和7年度事業計画

(重点事業)

- 災害に備えて、地域団体との連携、支え合いの体制づくりに向けての取り組み(継続)
地域地区防災計画策定、防災組織の立ち上げ
- 行政と協働した町内会の諸課題の解決に向けた取り組み(継続)
行政との意見交換会の開催(町内会への加入促進等)

工 予算

- ふるさと会負担金については、札幌市からの菊連協に対する連合町内会助成金を充てているが、菊連協がふるさと会を脱会することとなることから同財源については各連町に対し菊連町内会助成金として交付し町内会活動の充実を図る。
- 令和7年度交付予定の菊連町内会助成金(試算)

ふるさと会地区負担金相当額(20円/世帯×町内会加入世帯数)
 (令和6年度 239,760円 令和7年度 244,780円)

ふるさとまつり地区負担金相当額
 令和6年度菊連負担額10万円を上限に各連町の加入世帯数に応じ案分

令和7年度菊連町内会助成金(試算) (円)

連町名	菊連負担金 相当額 ※	ふるさと会 地区負担金相当額	ふるさとまつり 地区負担金相当額	菊連町内会 助成金 計
東連町	23,220	30,960	12,647	66,827
西連町	65,910	87,880	35,899	189,689
南連町	44,640	59,520	24,314	128,474
北連町	37,920	50,560	20,654	109,134
上町連町	11,895	15,860	6,479	34,234
計	183,585	244,780	99,993	528,358

※ 菊連負担金相当額

令和6年度から札幌市の菊連協に対する連合町内会助成金が増額されたため、菊連協に対する連町負担金相当額を菊連町内会助成金として助成することとした。

- 助成金～日赤菊水地区奉仕団をはじめとした各種団体への助成(継続)
- 負担金～白石区町内連合会連絡協議会をはじめとした負担金(継続)

令和7年 2月 5日

福まち各役員 様
伊勢所長・白石社協 様

菊水地区福祉のまち推進センター

菊水地区福祉のまち推進センター3月度議案書概要

開催日 令和7年 3月11日(火) 15:00~16:30
開催場所 菊水地区会館 A・B会議室
出席予定者 阪口・小板谷・藤井・盛永・木村・山内(勝)・南里
・永井・小笠原・折原・蠣崎・宮野・本山・宮田・澤田
・伊勢所長・白石社協 竹田・玉森・下田
事務局 大久保・佐藤・山内(英)・加藤 (計23名)
欠席者 岡田

I. 連絡・研修会等案内事項

「令和7年度菊水地区社会福祉協議会」総会開催について

開催日 令和7年5月13日(火) 15:00~16:30
開催場所 菊水地区会館 1階 A・B会議室

II. 検討事項

1. 令和6年度事業報告について
2. 令和7年度事業計画について
3. 菊水社協・菊水福まち役員改選について

III. 白石区社会福祉協議会からの連絡事項

IV. 次回役員会は令和7年4月 8日(火) 15:00~16:30
開催予定で如何でしょうか。 以上